



1	2	3
4	5	

1. 週の始まりは、園生活のペースを呼び戻すべく、緩やかな時間の流れを意識しています。慌てず、丁寧に身のまわりのことを行えるように。

2. 年長児そらぐみさんの姿を見て長縄飛びに挑戦する子が急増中！
「なわとびは、ゆうがたね」なんだって。あのね、ちいさい子が危なくない様に決めたんだって。

3. おもちゃや道具などの壊れたところは、できる限りこどもと一緒に（又は目の前で）修繕します。その過程を知ってもらうのは、もちろんのこと壊れたら直して丁寧に使う意識を大切にしたいのです。

4. 読み読みの時間、こどもは本当によく絵を見えています。時には読み手が気付かなかった面白さを教えてもらう事もあります。絵本を通じて豊かな時間が生まれているのです。

5. 自然が創り出す造形美にはこどもたちに育てたい価値観や、豊かな感性を育むエッセンスが、凝縮されているのではないのでしょうか？

1月27日(月)

指示するのはなく
支持するのはこと

こどもが自分のやりたいことを
探求できる環境づくり

こどもたち発信で、今ここに
ないものを作り上げる知性が
必要になってくる時代。
それを支持する(援助する)と
いうことは、どの様な保育な
のか、これでいいのか、毎日
試行錯誤を続けながら、その
先の「こどもが自分のやりた
いことを探求できる環境づく
り」を目指しています。
もちろんそれは、こどもの言
いなりになることではなく、
こどもの思いに耳を傾けて、
その世界観に共感すること。
その際、同時に保育士は一步
先を見通して、今のこの子に
はどんな関わりが必要なのか
を判断し、対応していきます。
ルールや活動も年齢に応じて
こどもと話し合っ決めてたり
思いを汲み取って進めている
のです。